

上下水道事業の現状

第4回 加賀市上下水道事業経営検討委員会

加賀市上下水道部

目次

1 | 水道事業の現状

2 | 下水道事業の現状

1. 水道事業の現状

水道事業の収益的収支

- 水道事業の決算では、コロナ禍による活動自粛による影響が大きく、現在においてもコスト削減の取組をしていますが、費用を上回る収益確保が出来ていない状況が続いています。



■ 料金回収率

☹️ : 全国平均より劣る

- 供給単価と給水原価との関係を見るものであり、料金回収率が100%を下回っている場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外で賄われていることを意味します。
- R1年度以降は100%を下回っており、また、料金回収率を向上するためには、経常費用の低減に伴う給水原価の引下げか、料金値上げに伴う供給単価の引上げが必要になります。

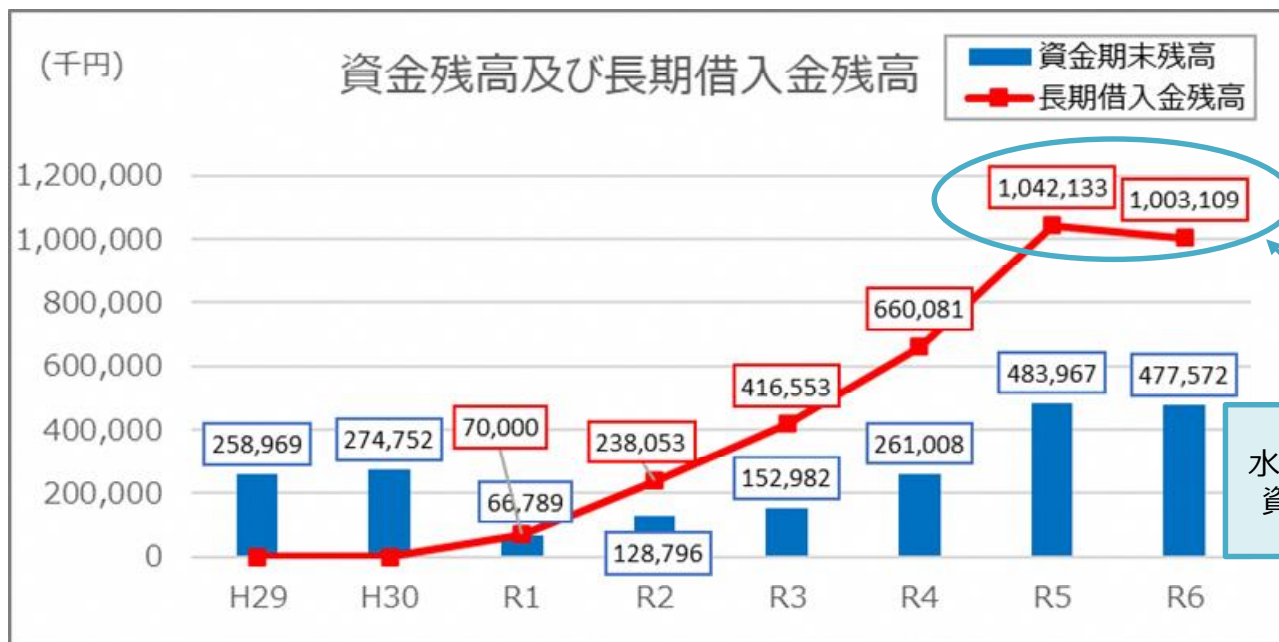


$$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$$

2. 下水道事業の現状

下水道事業の資金残高・借入金残高

- 下水道事業の令和6年度決算における資金残高は477,572千円となっております。しかしながら、水道事業会計より多額の借入金により経営を維持している状況にあります。
- 下水道事業が単独にて経営が図れるようますますの努力が必要となります。



水道事業からの借入を行って
資金残高を維持しています

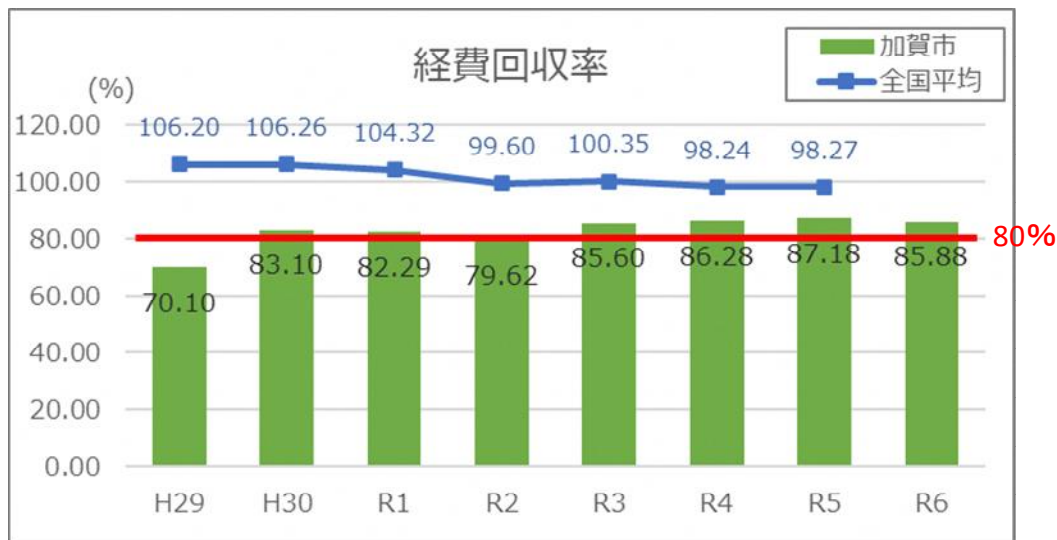
経営指標分析

■ 経費回収率



: 全国平均より劣る

- 汚水処理に要する費用をどの程度下水道使用料で賄えているかを示した指標になり、独立採算制の原則から、100パーセントを超えることが必要と考えられています。
- 法適用年度である(使用料税抜き算定)H29年度から100%を下回っており、全国平均よりも低い水準で推移しています。



下水道使用料
 $\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担額を除く)}}$